

快挙！【到達度試験参加者】 全員合格！！

平成 26 年度「介護福祉士国家試験」が 1 月に行われ、その結果が 3 月 26 日に厚生労働省社会・援護局福祉基盤課人材確保対策室より発表された。

外国人受験者数は 174 名で、そのうち 78 名が合格した。受験者に対する合格率は 44.8% で、例年より合格率が高かったことが特徴だ。しかし、50% 以上にも達していない。（下表参照）

【到達度試験参加者】が、今回初めて全員合格（100%）したので「なぜ、全員合格できたのか」を、読者、並びに関係者に具体的に説明するため、本号で特集した。

I、「【到達度試験参加者】は四つのタイプ」

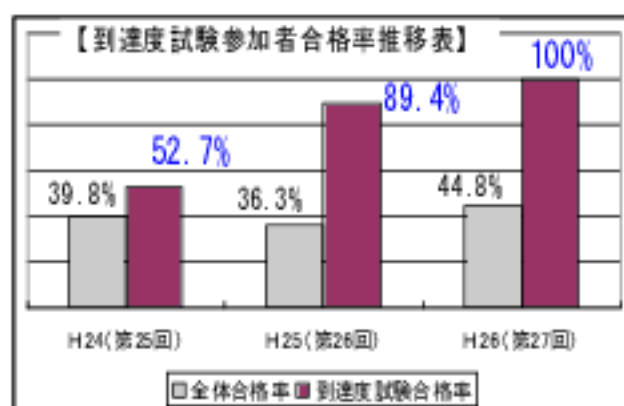
- A、入職直後からの参加者
- B、入職 2 年目からの参加者
- C、入職 3 年目からの参加者
- D、延長の参加者

- 1、右表の推移表で分かる通り、A の入職直後からの参加者は、常に合格している。

その理由は、試験日までの 3 年間の【学習計画表】に 1 年間単位で、明確に「学習目標」が定められており、次の手順で言語能力を養ったからだ。

- ① 基礎言語能力の育成
- ② 生活言語能力の育成
- ③ 職域言語能力の育成

学習目標



- 2、2 年間の「国家試験受験能力」の育成と、最終年では「国家試験合格能力」を養ったからだ。入職直後からの参加者は十二分な時間があるために、「10 段階の言語能力試験」を経て、確実に合格できるシステムに沿って、言語能力を向上させながら学習したからだ。

II、「入職後 2 年から 3 年目の参加者の特徴」

- 1、到達度試験参加の前には、施設の職員や日本語教師など、あるいは、日本語学校や専門学校で学んでおり、「授業の内容が理解できないまま」に時間を過ごす状態が続いていた。但し、語彙の数は、ある程度暗記法で身につけていた。

しかし、「言語能力は日本人の 4~5 歳児程度」で、職場での意思疎通は「ワンワードコミュニケーション」であったために、日本人が完全に受験者の【本当の言語能力】を知らないままに過ごしていた者が多かった。

- 2、そこで、弊社が行っている無料の【10 分間テスト】を受けて、客観的に受験者の言語能力を見せられた結果、初めて【本当の言語能力】を知り、驚いて、到達度試験に参加した者が多い。

- 3、「なぜ、短期間で合格できたのか」を考えると、受験者は語彙量があるにも関わらず、【言語能力が無い】ために、日本語力が無かった。そのために、「日本語の規則性と用法、そして、運用と活用の仕方」を理解させることで、持っている語彙量を使いながら、正しく日本語力を養えることができたようにした。その結果、短期間でも【国家試験受験能力】を養えて、短期間の参加者であっても合格できたのだ。
- 4、「日本人が騙されやすい特徴」は、会話の中で意思疎通がある程度できるために、業務の中では、受験者が十分に日本人と同様の「日本語力」を持っていると錯覚してしまっていた。しかし、「読解や構文の力」を周囲は知らないために、【本当の言語能力】に気づけなかった。

Ⅲ、「延長参加者の特徴」

- 1、右表で観ると、毎年度延長者の合格率は決して高いものではない。一般的に考えると、日本滞在期間は既に4年間にも及び、介護現場である程度の業務を行っているにも関わらず、国家試験には合格できる能力が養われていなかったことは、「何が原因なのか」が判然としない」と思う人が圧倒的に多いだろう。

その中でよく聞かれる声としては、「日本語力ではなく、専門知識が無かったため」という言い訳が、毎年度聞かれるのが特徴だ。

- 2、しかしながら、延長になって「到達度試験」に参加した者の合格率は、今回では100%に達している。

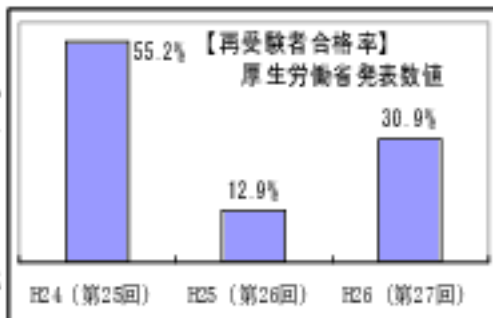
その理由は、延長者でも、最初から【言語能力を養うという視点】で再教育をし、試験問題の読解力を高めることだけではなく、言語能力として必要な「構文力を養った」ために、必然的に【本当の言語能力】を短期間で身につけさせたからだ。

- 3、延長者にとっては、「到達度試験は駆け込み寺の様相」を呈しているために、弊社としては確実に合格できる教育を行ってきた。その結果、約8か月間弱で再教育をし、毎回、合格させてきた。

- 4、延長者の不合格原因は一重に、「言語能力が無いにも関わらず、暗記法による専門語彙と知識の学習」と、「マークシート方式による試験解答の重視」が最大の阻害原因となっていた。そのために、「理解すればできるという視点作り」から再教育を行うことで、3年間の悪癖を取り除くことが、最も重要な課題だった。その結果、3年間で蓄積された「語彙と知識を整理整頓させる力」を養うことで、短期間に合格できる能力を身につけさせた。

- 5、このことは、【日本語の規則性・用法・運用・活用・利用】を熟知している専門家でなければできないことであり、未熟な教育者には到底できない学習指導方法であると、断言できる。

よって、弊社は専門家集団であるために、前代未聞の驚異的な「全員合格の達成」ができた。



「到達度試験」 新規参加者募集

- 1、助成金内で参加可能。
- 2、体系的に言語能力を、確実に養える。
- 3、業務を行いながら、自学することができる。
- 4、業務を通して介護技術を習得できる。
- 5、【自学能力】が身につくために、特別な学習時間が不要。

※ 過去の実績が示すように、参加すれば80%以上が合格できる。

※ 受験学習を行いながら日本人と同等の業務を行わせるために、特別待遇をしないで済む。

Ⅳ、「【到達度試験コース】の種類と特徴」

- ① 独立型：1年目 【国家試験受験能力到達度試験】
初回レベル～国試3レベルまで実施
2年目 【スカイプ授業】月1回、全10回
3年目 【スカイプ授業】月1回、全8回
- ② 併用型：1年目 【国家試験受験能力到達度試験】
初回レベル～Dレベルまで実施
【スカイプ授業】月1回、全5回
2年目 レベルE～国試1レベルまで実施
【スカイプ授業】月1回、全7回
3年目 国試2～3レベルまで実施
【スカイプ授業】月1回、全8回

【試験の特徴】

- 1、体系的に言語能力を養い、合格後の実務に必要な「読解力と構文力」が身につけられ、「業務報告や業務日誌」などを書く能力が身につく。
- 2、スカイプを使用して、【コミュニケーション能力と要約力】を養い、専門語彙や職場に対応できる実践能力が身につく。
- 3、専門知識を中心とした「日本の社会事情や法律事情など」を中心に、国家試験合格能力を養う。

＜連絡先＞ ことばの研究社
TEL：086-431-3481
FAX：086-431-3482

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い諸技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は、平成 24 年度国家試験で受験者数 95 名中 36 名が合格し、その 36 名中 19 名 (52.7%) がこの【到達度試験】を受けた受験者でした。 25 年度では、128 名の国家試験合格者のうち、【到達度試験】参加者は 76 名で、合格者は 68 名 (89.4%) でした。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で働く人間として必要な言語能力を養うことを重要視した学習方法です。 さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、病院や介護施設などで実践力のある要員として育成することを目的としています。 定期的試験結果を数値化し、職員に指導の仕方を考察票でお送りしておりますので、安心してご指導頂けます。 是非、ご参加下さい。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職業言語能力を養う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」(漢字 熟語)と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 (語彙力・文意力)に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生活言語能力を養う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基礎言語能力を養う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字(ひらがな・カタカナ・ 漢字)・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		

【国家試験受験能力到達度試験お申し込み書】

＜送付先：FAX 086-431-3482＞

施設名：

ご担当者名：

所在地：〒

電話：

FAX：

メールアドレス：

＜受験人数＞ 名

＜受験者の国籍＞ インドネシア（ 名） フィリピン（ 名） ベトナム（ 名）

＜入職期間＞ 1年（ 名） 2年（ 名） 3年（ 名） 延長（ 名）

※ 下記の料金は受験者1名あたりの金額です。

＜独立型＞ 教材費・試験・考察指導料金込み

209,033円（税込み） （ ）名 合計金額 円

到達度試験10回分 但し、再試験料金含む

＜併用型＞ 教材費・試験・考察指導料金込み

222,500円（税込み） （ ）名 合計金額 円

到達度試験5回分と、スカイプ5回分 但し、再試験料金含む

下記は、オプションとなりますので○印をつけて下さい。

① 職員用（指導管理者）教材一式 別途16,533円 必要 ・ 不要

② 学習を始める前にスカイプを用いて、候補者自身に学習の進め方や教材の使い方の流れをお伝えできます。 必要 ・ 不要

※1、申し込み書が届き次第、契約成立とみなします。

※2、なお、申し込み後に取り消した場合は、契約金額の50%を頂きますので、ご了承下さい。

※3、入金確認後、教材並びに手引書を送付致します。

但し、教材の送料は、着払いとさせていただきます。

＜連絡先＞ ことばの研究社

TEL：086-431-3481 FAX：086-431-3482

メール：kotoba_ken@yahoo.co.jp